

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社JFLAホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3069 URL <https://j-fla.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)檜垣 周作
 問合せ先責任者 (役職名)法務総務部長 (氏名)尾崎 富彦 (TEL)03(6311)8892
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	58,702	10.3	△392	—	△549	—	△599	—
2022年3月期第3四半期	53,226	0.0	△432	—	△579	—	13	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △531百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 △550百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△13.01	—
2022年3月期第3四半期	0.33	0.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	51,208	7,604	12.3
2022年3月期	48,452	8,282	14.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 6,285百万円 2022年3月期 6,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

2023年3月期の業績予想は、経営改善計画の進捗状況を踏まえ、合理的な業績予想が可能になり次第、速やかにその開示を行う予定であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	46,377,136株	2022年3月期	46,062,136株
2023年3月期3Q	37,315株	2022年3月期	34,831株
2023年3月期3Q	46,073,345株	2022年3月期3Q	42,570,865株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結通期業績予想につきましては、現時点におきましては合理的に算定することが困難なため未定といたします。
今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による影響を受けながらも徐々に社会経済活動の制限が緩和され正常化が進んでおります。しかしながら、ウクライナ情勢の緊迫化、原材料価格やエネルギー価格の高騰、急激な円安進行等の影響により、依然として先行き不透明で厳しい経営環境が続いております。

当社グループの属する飲食業界につきましては、ワクチン接種等の対策が進むものの、新たな変異株の出現などによるコロナ禍の影響を受けやすい業界であり、依然として厳しい業況が続いております。流通業界につきましては、資源価格の高騰やインフレ率の上昇、ウクライナ情勢の緊迫、欧米における金利上昇、円安等の影響を大きく受けており、食料品・酒類を製造する業界におきましても、原材料・エネルギー価格及び物流費の上昇など、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

当社グループは、「食を通じた新たな価値の創造と提供」をミッションに、「新たな価値を生み出すブランド創出」、「新たな価値を提供する多様な販売手法の構築」、「新たな価値を支える経営基盤の確立と持続的な成長」という3つの中長期戦略に取り組んでおります。

このような状況の中、事業ポートフォリオの再構築として、生産事業への経営資源の集中や販売事業における製販一体型事業への移行等を進めてまいりました。また、並行して2022年5月13日に公表いたしました経営改善計画に基づき収益改善に努め、販売事業部門では不採算継続事業の撤退・売却、生産事業部門では穀物価格やエネルギーの価格変動リスクを吸収する値上げ等の対策、流通事業部門では円安の影響を改善するための売価調整、そして本社部門では固定費削減等に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高58,702百万円（前年同四半期比10.3%増）、営業損失は392百万円（前年同四半期は営業損失432百万円）、経常損失は549百万円（前年同四半期は経常損失579百万円）となり収益改善が進みました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、599百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円）となりました。主な理由としましては、投資有価証券売却益374百万円の計上があった一方で、投資有価証券評価損267百万円、事業構造改善費用264百万円の計上などによるものであります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①生産

生産事業におきましては、各社とも原材料価格やエネルギー価格の高騰によりコストが前年より大幅に増加しました。このような状況の中、株式会社弘乳舎はアイスクリームの売上改善により引き続き増収したものの減益となりました。九州乳業株式会社、茨城乳業株式会社においては、増収減益となりましたが、2022年11月の乳価改定に伴い、値上げを実施しております。盛田株式会社においては、価格改定、業務用商品の改善、メディアにおいて紹介されました「麻布十番三幸園 焼肉のたれ」が好調に推移するなど、増収増益となりました。以上により、当第3四半期連結累計期間における売上高は33,287百万円（前年同四半期比9.1%増）、営業利益は346百万円（前年同四半期比38.2%減）となりました。

②流通

株式会社アルカンは、新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、既存顧客深耕や新規顧客開拓が順調に進み、ホテル・レストラン向けの業務用食材の売上が好調に推移したことにより増収増益となりました。当第3四半期連結累計期間における売上高は15,590百万円（前年同四半期比21.0%増）、営業利益は225百万円（前年同四半期は営業損失15百万円）となりました。

③販売

販売事業につきましては、2022年7月に株式会社アスラポートの一部事業、2022年10月に株式会社TBジャパンの事業を譲渡しましたが、新型コロナウイルス感染症による変異株の影響により各社厳しい経営状態が続いております。当第3四半期連結累計期間における売上高は9,611百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業損失は111百万円（前年同四半期は営業損失61百万円）となりました。

④その他

ウェルエイジング事業や店舗開発事業により、当第3四半期連結累計期間における売上高は212百万円（前年同四半期比21.1%増）、営業損失は40百万円（前年同四半期は営業損失64百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ2,756百万円増加の51,208百万円となりました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ3,434百万円増加の43,603百万円となりました。純資産合計は前連結会計年度末と比べ678百万円減少の7,604百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失599百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、経営改善計画に基づき、収益構造改革を進めているため、現時点では業績予想の開示は行っておりません。

なお、今後の見通しにつきましては、業績予想の精査、並びに連結業績に与える経営数値の合理的な予想が可能となりましたら、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,869,433	4,301,616
受取手形及び売掛金	8,843,699	12,091,100
商品及び製品	4,496,582	5,486,313
仕掛品	2,490,257	2,559,733
原材料及び貯蔵品	1,375,654	1,722,486
その他	1,175,928	1,123,328
貸倒引当金	△22,309	△16,487
流動資産合計	23,229,246	27,268,090
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,485,166	9,415,992
その他(純額)	8,155,560	7,807,467
有形固定資産合計	17,640,726	17,223,459
無形固定資産		
のれん	2,916,681	2,585,709
その他	334,758	255,653
無形固定資産合計	3,251,439	2,841,363
投資その他の資産		
その他	4,557,380	3,986,692
貸倒引当金	△231,159	△111,766
投資その他の資産合計	4,326,220	3,874,925
固定資産合計	25,218,386	23,939,748
繰延資産	4,565	427
資産合計	48,452,198	51,208,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,428,548	9,412,640
短期借入金	11,629,781	11,640,274
1年内償還予定の社債	146,200	155,700
1年内返済予定の長期借入金	2,841,147	2,315,150
未払法人税等	249,356	161,454
賞与引当金	79,185	107,865
店舗閉鎖損失引当金	81,299	33,787
その他	5,114,619	6,372,869
流動負債合計	26,570,139	30,199,742
固定負債		
社債	153,600	125,400
長期借入金	8,660,351	8,845,590
債務保証損失引当金	64,465	64,465
退職給付に係る負債	912,258	906,455
資産除去債務	1,025,216	769,789
その他	2,783,411	2,692,420
固定負債合計	13,599,302	13,404,121
負債合計	40,169,442	43,603,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,513,801	3,561,680
資本剰余金	8,525,795	8,389,565
利益剰余金	△4,524,298	△5,166,459
自己株式	△14,308	△15,130
株主資本合計	7,500,989	6,769,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△84,342	△70,882
為替換算調整勘定	△347,051	△310,840
退職給付に係る調整累計額	△97,777	△102,905
その他の包括利益累計額合計	△529,170	△484,628
新株予約権	21,201	19,811
非支配株主持分	1,289,735	1,299,561
純資産合計	8,282,755	7,604,401
負債純資産合計	48,452,198	51,208,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	53,226,408	58,702,082
売上原価	38,442,716	43,102,843
売上総利益	14,783,692	15,599,238
販売費及び一般管理費	15,215,909	15,992,091
営業損失(△)	△432,216	△392,852
営業外収益		
受取利息	21,960	8,153
受取配当金	3,186	3,480
為替差益	196,232	191,153
持分法による投資利益	13,705	14,530
その他	145,629	116,881
営業外収益合計	380,714	334,200
営業外費用		
支払利息	294,973	295,127
その他	233,014	195,991
営業外費用合計	527,987	491,118
経常損失(△)	△579,489	△549,770
特別利益		
固定資産売却益	87,089	29,067
投資有価証券売却益	358,958	374,349
その他	1,321,457	441,569
特別利益合計	1,767,504	844,986
特別損失		
固定資産売却損	—	39
固定資産除却損	1,587	5,618
減損損失	253,181	28,898
投資有価証券評価損	—	267,657
事業構造改善費用	—	264,819
その他	691,965	239,612
特別損失合計	946,734	806,645
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	241,280	△511,430
法人税、住民税及び事業税	198,353	177,433
法人税等調整額	7,311	△110,666
法人税等合計	205,664	66,766
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,615	△578,196
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,685	20,988
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	13,929	△599,184

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,615	△578,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△461,916	15,421
為替換算調整勘定	△93,337	39,029
退職給付に係る調整額	△30,876	△8,023
その他の包括利益合計	△586,130	46,427
四半期包括利益	△550,515	△531,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△564,690	△554,642
非支配株主に係る四半期包括利益	14,175	22,874

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。